



やす町 議会だより

第54号

(平成30年8月)

もくじ	
■6月定例会	2
■臨時会(第3回)	4
■一般質問(11人が質問)	5
■議案等議決結果	16
■やす・ポリームリトーク	18

みんなの意見をきこう！(七夕交流会)

ホッケー場整備事業を巡って

6月
定例会

6月7日～6月20日

平成30年

第4回

賛否が伯仲！

若桜鉄道株式会社の経営状況などの報告5件、平成30年度八頭町一般会計補正予算（第1号）など町長提出議案3件、八頭町部落差別撤廃及び人権擁護に関する条例の一部改正など議員発議3件、決議1件を審議し、全議案を原案どおり可決した。

陳情は3件を審議し2件を採択、1件を継続審査とした。

一般質問は11人の議員が登壇し、行政全般について町長などに質した。

討論は、討論した議員の原稿に基づき掲載することになっています。原稿が未提出の場合は掲載していません。

報告

◇公社等の経営状況

○八頭町土地開発公社

【収入】 約90000円

（事業外的収益で受け取り利息）

【支出】 約7万円

（管理費）

○一般財団法人八頭町農業公社

【資産合計】

約3347万円

【収支決算額】

約1035万円

（次期繰越金）

○八東地域振興株式会社

【売上高】

約4790万円

【繰越損失】

0円

（別途積立金取崩額115万円）

○若桜鉄道株式会社

6月15日、株主総会が

あり、29年度の事業報告

があった。

【旅客人員】

約32万人、運賃収入は、

約5139万円で、観光

列車「昭和」の普通旅客

の増加と高校生の通学定

期利用者の運賃収入の増加が要因。

【安全対策】

踏切改良・橋梁補強・

枕木交換などの安全関連

施設の修繕を行うと共に

八東駅行き違い施設の測

量・設計業務を実施。

【地域利用促進策】

高校生の通学助成によ

る利用、通勤定期券・運

転免許返納者割引などの

販売などに努めた。

【営業収益額】

約3億3151万円

（運賃・JRに貸し出す

車輛使用料、若桜と八頭

両町からの受託費、国庫

補助金など）

【支出合計額】

約3億1569万円

【単年度決算】

約1280万円の黒字

補正予算

◇平成30年度八頭町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出の総額にそれ

ぞれ5146万円を追加

し、歳入歳出の総額をそ

れぞれ108億2246

万円とするもの。

【質疑】

隼Lab. 改修時に不都合だと気づかなかったか。

【答弁】 吉田町長

当初の計画より利用者の増加に伴うものだ。

【質疑】

①郡家地域の計画では、排水の整備がどう改善され、解決したのか。

②100万円減額の再提案は。

③当初予算に計上できなかったのか。

④否決されたら補正予算は一括否決だが。

⑤きらめき祭りの会場は一緒なのか。

【答弁】 吉田町長

①排水整備の方向性が決定し整備工事に着手できるようにになった。

②100万円減額はあくまでも委託料のみ計上した。実際の工事請負費の提案はこれからだ。

③当初予算に計上が筋だが町長選があり、新しい

任期での計上となった。

④全体の中で協議しご理

解いたきたい。

⑤多目的での使用を考えている。人工芝に養生をする予定。

質疑

①事業費4500万円は測量設計に全て使うのか。

②維持管理費のリスクも考えるべきだ。

③工期はオリンピックに間に合うのか。

④場所を変更した理由は、船岡地域の決定だったのでは。

答弁

荻田教育長

①ホッケー場本体の部分、クラブハウスの建築部分だ。

②福井県越前町の例で年間100万円、夜間照明の電気代だ。

③9月定例会で工事費の補正予算を計上し、発注して約9か月で完成予定だ。

④場所を選択してきたの船岡地域での提案だったが、時間の経過と伴に条件が変わった。

質疑

①予算・決算特別委員会の決定は「ホッケー場整備委託料、4500万円」を予算から除く「修正」だった。この場合、町長は議案を取り下げるのが通常だが、今回は取り下げなかった。その理由は、

②ホッケー場の整備は議案上程の場所以外は視野に入らないか。

答弁

吉田町長

①子どもたちにとって、必要な施設であり、夢を叶えてやりたいと思うからだ。

②議案に上程している郡家の地は最高で最良であり、他の場所は視野に入っていない。

原案に対する賛成討論

奥田のぶよ

合併前の3町、船岡は隼プールの水泳、森下広一杯マラソン、八東は八東小学校の相撲と、郡家がホッケーを守ってきたようにスポーツのレガシー（歴史）がある。次世代へとつながることも考

えこの議案に賛成する。

原案に対する賛成討論

尾島 勲

一見、グラウンドホッケー場の整備、いわゆる「モノづくり」に予算を補正するかの様に見える。

しかし、単なるホッケー場の整備に留まらず、この整備によって発生する町全体の「コトづ

くり・物語」へと進展すると確信する。

修正案に対する賛成討論

高橋信一郎

施設は中学生の部活利用。義務教育下の育成は等しくなければならぬ。総務教育常任委員会では、ただ反対している訳ではない。今の練習場を整備してあげたらいいのではないか。膨大な予

算は住民生活に影響を及ぼす。

原案に対する賛成討論

小林 久幸

八頭中学校は、毎年全国大会に出場し常勝校として活躍、全国のホッケー関係者の方々には認知されており、子供たちには大きな夢、町民には感動を与えられる事業だと思ひ、賛成討論とする。

原案に対する賛成討論

小倉 一博

長年の懸案であった郡家地区の雨水・排水対策に方向性が出たことや県の支援もある今、子どもたちに整備されたグラウンドで練習させてやりたい。

修正案に対する賛成討論

森 亜紀子

「ホッケーの町八頭町」教育は公平公正だ。が町民に広がり浸透していると感じられない。今後民生費も膨らむ。「八頭町公共施設白書」では20年間で改修などに30

0億円かかると明記された。慎重に将来を考えるべきだ。

原案に対する賛成討論

下田 敏夫

八頭中学校は統合して4年でホッケー場の整備は将来の町を背負う子どもたちへの投資だ。全国のレベルを知る視点、考え方の広い子が増え、全国どこに出ても胸を張って本町のことを自慢できる環境を創っていくことが大事だ。

修正案に対する賛成討論

栄田 秀之

人口減少が進む中に、6億円のホッケー場が必要なのか、八頭中学校の練習場を整備していけば、町の財政負担も少ない。専用コートは多くの町民が利用できる。地元住民に十分な説明をすることが必要だ。

修正案に対する賛成討論

小原 徹也

ホッケー場の説明は疑問を感じた。



▲ホッケー場建設予定地 郡家運動場

予算・決算特別委員会で、全議員が町政全体を考え、討論した結果が出た。当然、特別委員会の決定を尊重して、修正案に賛成する。

修正案に対する賛成討論

川西 聡

「きらめき祭り」の開催に諸側面で支障が出る。毎年、最小の予算では済まない。町長は郡家が最良と言うが、私の質疑に最後まで答弁せず、本当にやる気があるのか疑問だ。この問題は政争の具の観ありで修正に賛成。

修正案に対する賛成討論

岡嶋 正広

議員全員で構成する予算・決算に関する調査特別委員会が出た結果を重んずるべきである。

議会が真つ二つに分かれるような議案の採決は必ず将来に禍根を残す。こういう場合は行動を起こすべきではない。

◇平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ254万円を追加し、歳入歳出の総額を7億3754万円とするものの。

◇平成30年度八頭町墓地区域特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ95万円を追加し、歳入歳出の総額を135万円とするものの。

議員発議

〈条例の制定〉

◆部落差別撤廃及び人権擁護に関する条例の一部改正

条文に「インターネット上における人権侵害等の問題」と「インターネット等による差別及びそれらを助長する行為をしないよう努めるものとする」という文言を加え、一部を改正しする。

また、基本計画を条例で謳うことにより、その位置付けの確認、教育及び啓発を組み合わせる

文化する。

反対討論 川西 聡

改正案の「インターネット上における人権侵害の問題」の追加は了解しかし、条例名及び文中の「部落」の文言は削除する必要がある。本町は差別解消の方向に大きな前進が見られ、差別が許されない状況だからだ。

賛成討論 森 亜紀子

インターネットなどの情報通信や教育環境も大きく変化した。そのような社会情勢に対応するため条例改正は必要だ。これからはさらに人権感覚を磨き、あらゆる差別の解消に向けて意識の高揚が重要だと考える。

〈意見書の提出〉

◆地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書の提出

決議

◆2025年国際博覧会の誘致に関する決議

国際博覧会は新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより世界と日本の平和的發展に大きく寄与することが期待されている。大阪・関西地域における誘致に向けた全国的な機運の醸成など、必要な取り組みを積極的に推進するものとする。

政府においても誘致実現に向け、万全の対策を講じられることを強く要請するもの。

反対討論 川西 聡

大阪府の構想は国際博覧会開催に併せて「IR（カジノ）」誘致とセットで夢州に誘致し、大阪の成長戦略の切り札にすること。また、夢州での開催は破綻した巨大開発の再度の目論み。維新と自民の改憲の具などで反対。

賛成討論 森 亜紀子

大阪、関西圏で国際博覧会が開催されれば、本町を訪れる外国人観光客の増加による経済効果が見込まれる。若桜鉄道など本町独自の観光も期待される。

平成30年

第3回臨時会

5月30日

町長提出議案7件を審議し原案通り可決した。

専決処分の承認

◇八頭町税条例の一部改正

①固定資産税では、現行の土地負担調整措置などの特例を3年間延長した。

②新築住宅にかかる税額の減額措置を2年間延長



▲建設が進む（仮称）八東保育所

した。

③たばこ税を段階的な引き上げ、加熱式たばこの課税方式の見直しなど。

◇八頭町国民健康保険税
条例の一部改正

課税限度額を現行の54万円から58万円に引き上げた。

契 約

◇（仮称）八東保育所建築工事請負契約の締結について

○契約金額

4億3146万円

○契約の相手

こおげ・松田組・八田
特定建設工事共同企業体
代表者 こおげ建設株式
会社代表取締役

山根敏樹
鉄骨造り平屋建て、延
べ床面積1480.7㎡
平成31年2月28日完成。

◇（仮称）八東保育所電気設備工事請負契約の締結について

○契約金額

5708万9880円

○契約の相手

株式会社東部電工
代表取締役 奥田信夫
電灯設備、構内配電線
路設備、電気設備
平成31年2月28日完成。

◇（仮称）八東保育所機械設備工事請負契約の締結について

○契約金額

1億1759万5800円

○契約の相手

日本上下・山陰建設・
松田建設特定建設工事共
同企業体
代表者 日本上下水道
工業株式会社代表取締役

山田俊彦
冷暖房、換気設備、衛生設備
平成31年2月28日完成。

◇備品購入契約の締結について（除雪車）

○契約金額

3877万2000円

○契約の相手

三洋重機株式会社
取締役社長 花原 俊
納期は平成30年11月30日。

ここが聞きたい

一 般 質 問

11人が一般質問しました。

※質問や町長などの答弁は、質問した議員の原稿に基づき掲載することになっており坂根實豊議員の原稿は未提出であるため掲載していません。

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	地方創生事業の検証と今後の展開	奥田	6
	2期目をスタートさせた政治家・田町長が取り組む、町民を主人公としたまちづくりの物語（リーフレットを主に）	尾島	7
	自治体戦略2040構想研究会（総務省）の第一次報告の対応	尾島	7
	町発注公共事業	岡嶋	8
	コンビニエンスストアで元気なまちづくり	岡嶋	8
	地方創生を問う	小倉	9
	公共交通	森	10
	情報発信	森	10
	船岡地域のコンビニ設置	小原	11
	人口減少と町の施設	栄田	14
	広報やず5月号別冊八頭町の予算の概要	栄田	14
	政策（事業）の優先順位	高橋	15
	ホームページ発信事	坂根	

産業・観光	観光振興	森	10
	旧大江小学校跡地に係る農泊事業	小原	11
	農泊事業計画への支援協力	川西	12
	町有山林こと	坂根	

教育・子育て	保育所における感染症予防対策	川西	12
	小中学校教職員の時間外労働（勤務時間外の業務時間）の実態と改善	川西	12
	図書館	栄田	14

福祉・医療	八頭町国民健康保険データヘルス計画（案）	奥田	6
-------	----------------------	----	---

防災・安全	防災・減災	中村	13
-------	-------	----	----

地方創生

今後の本町の体制は

町長/今の職員体制での対応となる



奥田のぶよ 議員



▲ 角園太一地方創生監退任報告会 (6月28日隼Lab.)

質問

地方創生事業の検証の現在の状況や実績を伺う。

- ①重点取り組み事項の進捗状況は。
- ②検証体制は。
- ③今後の展開は。

答弁

吉田町長

- ①昨年12月に拠点施設の隼Lab.が11社でスタートし、4月にさらに1社入居した。カフェもオープンし多数のイベント

ト開催でにぎわっている。

麒麟のまち観光局もでき、圏域での観光振興が本格化している。

観光列車「昭和」が運行を開始しツアー利用も見込まれる。

「八頭町農業ビジョン」に基づき持続可能な農業を進める。

子育て環境の整備はニーズも高く引き続き進める。

- ②八頭町総合戦略検証委

質問

地方創生はSDGs

員会で検証し平成28年に内容を改訂した。

- ③4年目となる今年度は総合戦略で掲げた各事業のより成果が上がるよう努める。

答弁

吉田町長

(持続可能な開発目標)の流れになると思うかどうか。

注視していく。

データヘルス計画

健診受診勧奨の対策は

町長/あらゆる機会で

受診を進めていきたい

質問

平成30年3月に「八頭町データヘルス計画案」が発行された。3点伺う。

- ①重点課題の取り組みは。
- ②健診未受診者、健診異常値放置者への対策は。
- ③がん検診受診率向上の対策は。

答弁

吉田町長

- ①糖尿病などの予防教室の参加を進めている。

答弁

吉田町長

大きな課題だ。連携をとって今現在では対応していく。

質問

30代の健診の検討は。

答弁

吉田町長

若いうちから健康に留意することは必要だ。内部で検討する。

質問

町民課、保健課、福祉課、介護保険や包括支援センターなど多岐に広がっている部署をまとめることが必要では。



尾島 勲 議員

吉田英人の未来創造宣言

どの様な物語を創造するのか

町長/達成時期や目標数値を設定し実行する



▲ 本町の操舵を切る町長室

質問

「吉田英人の未来創造宣言」で、どの様な本町の物語を創造するのか伺う。

①町長自身の基本姿勢で何をブラッシュアップするのか。

②ビジョンの中で、1期目から2期目へとブラッシュアップする項目は何か。

③このビジョンにより、どういうミッションを達成するのか。

④ビジョンのゴールはいつか。

⑤このビジョン・ミッションを達成させるための戦略は何か。

⑥その戦略を具現化する戦術は何か。

⑦これらの戦略・戦術をどの様に構築するのか。その手段は。

⑧2期目のスタートで、いの一歩に取り組む政策は何か。

答弁

吉田町長

①地域の皆さんの元気だ。

②全てのビジョンだ。

③本町に住んで良かったと実感できる、行政運営の達成だ。

④平成33年度だ。

⑤5つのビジョン・18項目を推進するための事業項目を細分化し、取り組む。

⑥P・D・C・Aサイクルを実践して行く。

⑦P・D・C・Aサイクルを実践して行く。

⑧ホッケー場の整備だ。

質問

企業戦略の父、イゴール・アンゾフの「戦略は組織に従う」という言葉がある。一方、経営史研究家、アルフレッド・チャンドラーの「組織は戦略に従う」という言葉がある。

どちらの戦略を使い、ミッション・ビジョンを達成されるのか。

答弁

吉田町長

「組織は戦略に従う」を理念に考えている。

5つのビジョンの達成に向け、組織を有効に活用させることが一番だ。

中長期的な目標、達成時期や目標数値を設定し、職員間で意思統一を図り実行する必要がある。

質問

今の答弁だと、役場組織・機構改革などを行い、ビジョンを達成するシステムを創るという意味だが。

答弁

吉田町長

機構改革までには至らないかも知れないが、職員同じ目標を持って取り組む。

※その他の質問

自治体戦略2040構想研究会の第一次報告の対応について

公共事業

職員への負担が大きいのでは

町長/経験を重ねて成長していく



岡嶋 正広 議員



▲ 人が集う拠点施設「隼 Lab.」

質問

①職員は専門職ではない。職員が業者と打合せ、指導などを行なうことは、負担が大きいのでは。

②ソフト事業における予算の算定、業者の選定、契約履行のチェック及び完了検査はどういう形で行なわれるのか。

答弁

吉田町長

①職員は最終的には経験を積み重ねていろいろ覚え、成長していく。内容変更など伴うときは、先輩職員、課長も現場に出向き、協議指示ということになる。

②イベントなどでは業者からの見積りを徴取し、公募型プロポーザルの実

施、プレゼンテーションの審査により業者決定する。

完了検査は仕様書に基づき成果物が完成しているかどうか検査している。

質問

隼Lab.業務委託料どこまでできて完了か。業務委託完了と認める基準は。

答弁

吉田町長

事業計画の策定及び具休化、企業誘致、ホームページの作成及び運用な

どコーディネートをしてもらった。

完了検査は、成果として報告書の提出、それを担当課長が検査をする。

地域活性化

コンビニエンスストアで元気なまちづくりを

町長/検討する必要がある

質問

①コンビニは地域でなくてはならない存在であり、最近では建物と一体化し高齢者向けの介護予防教室、カラオケルームなどを設置し、敷地内にバス停を設け、高齢者の買い物と健康を提供する店舗がある。

建物と敷地、外構は公で提供し、運営はその道のプロにお願いする。地域の活性化の一案と

質問

して提案するが見解は。

②船岡地域には年間約30万人が車で通過する通りがある。行政の応援が必要と考えるが。

答弁

吉田町長

①近年では自治体が建設した複合施設の中にコンビニが出店し、多くの人が気軽に利用できる店舗もあると伺っている。

船岡地域は鉄道、フルーツラインから近いア

クセスの良い場所である。コンビニのある複合施設を設置しJAと連携して地元農産品を提供できれば地域振興やにぎわい創出になると思う。

船岡地域周辺の偏在状況などを総合的に考慮し、検討する必要がある。

②JAなど地域の協力がないと進められない。



小倉 一博 議員

地方創生

総合戦略を問う

町長/人口減少対策であり地域活性化だ

質問

地方創生について問う。

隼Lab.の入居者など現状と今後の進め方は。地域の活性化にどうつなげていくのか。

答弁

吉田町長

3階に、業務アプリなど開発の(株)アクシス・無線システム調査や設計の(株)ビーフリー・WEBシステム開発や「カロイチ」運営の(株)S I エージェンシー・船岡共生の里づくり協議会の4社。

2階にインターネット広告の(株)クリエイターズマッチ・社会的インパクト投資の(株)ネクストソフト・環境コンサルティングの(株)鳥取クリエティブ研究所・地域商品のマーケティング販路開拓を手掛ける(株)あきんど太郎・飼料や融雪剤を扱う(有)日中東北物産・隼Lab.の運営や地域活性化事業に当たる(株)シーセブンハヤブサの6社。

1階に隼地区まちづくり委員会と(公社)鳥取県看護協会・カフェダイニングS.A.Nを運営する(株)トリクミが入居した。

コワーキングスペースの利用拡大やイベントでの貸し出し、出資企業の協力で事業の安定化に努めてもらいたい。

地域のコミュニティスペースとして、地域の人と連携を図りながら多くの人が参加できる施設として運営してもらいたい。

質問

若桜鉄道観光列車の運行状況と、今後の可能性について聞きたい。

答弁

吉田町長

3月4日から運行開始、5月末までに15回運行して約450人が乗車、旅客収入は約56万円余だった。9月まで予約が入っている。来年には2両目が、再来年には3両目がデビューする。イベントなども実施して利

用客増へつなげたい。

質問

日本商工会議所の調査で、中小企業の65%が人手不足を感じている。人口が減れば地元企業も厳しくなる。どうしたら若い人に本町を選んでもらえるのか考える必要があるが。

答弁

吉田町長

本町の商工会も6割が後継者難と聞いている。総合戦略の目標は人口減少対策であり、地域の活性化だ。



▲ 地域の活性化「旧大江小学校」

観光振興

本町の観光の今後は

町長/地元業者や団体と 交流の縁を広げたい



森 亜紀子 議員

質問

本町の観光について伺う。

- ① インバウンドの取組みは。
- ② 「住宅宿泊事業法」を受けて具体的な計画は。
- ③ 交流・関係人口が増える施策は。
- ④ 若桜鉄道「昭和」の経済効果は。
- ⑤ 住民が普段の「昭和」に乗れるには。
- ⑥ 本町で1番の観光の目玉となる資源は何か。

答弁

吉田町長

- ① 外国人誘客アプリ「デイグジャパン」の導入、若桜鉄道の各駅などに多言語表示看板の設置・パンフレットも多言語化し観光協会に英語の案内が可能な職員を採用している。
- ② 観光協会と連携して民泊事業の推進を図りたい。
- ③ DMO法人「麒麟のまち観光局」の設立で1市6町での広い情報発信が可能だ。イベントの開

催や地元事業者・団体と連携して交流の縁を広げたい。

- ④ 観光列車分は3か月間で約56万円の運賃収入の増。普通旅客も増え好調なスタートだ。
- ⑤ 若桜鉄道に問い合わせればわかる。
- ⑥ 1点ではなく多岐にわたった観光資源がある。



▲ 行き違い工事予定の八東駅

質問

現在の交通網と今後の計画を伺う。

- ① タクシー助成の現状は。
- ② さんさんバスのあり方の検討は。
- ③ 若桜鉄道八東駅行き違い線工事の進捗状況は。

公共交通

八東駅行き違い線工事の 進捗状況は

町長/9月頃着手の予定だ

- ④ 若桜鉄道の運行本数が増えるが、八頭中学生の通学に利用する計画は。
- ⑤ 事業に合わせてバスを運行はできないか。

行して住民説明会、9月ごろ着手の予定だ。
⑤ 用途に合わせた送迎のバスを考えるべきであろう。

答弁

吉田町長

- ① 登録者も年々増加し現在1040人の登録だ。町の財政支援額が1千万を超えたという課題がある。
- ② 利用希望者のアンケートを実施し要望に沿ったダイヤにしたいが、保育所や学校に合わせる必要がある。

※その他の質問
情報公開について
④ 現段階で中学校の生徒が通学に利用することは考えていない。

- また地域交通会議を開催し路線・時間・料金などの検討を行っている。
- ③ 若桜鉄道と国交省が設計協議の最終確認中だ。
- 6月には国交省に認可申請、許可が下りた段階で工事発注の予定だ。並



小原 徹也 議員

補助金事業

町の対応が問題では

町長/大変申し訳なかった

質問

旧大江小学校跡地活用
農泊事業について伺う。

① 3月20日議会全員協議会
で協議資料を求めたが
今は白紙と説明された。
なぜ3月19日に本町ホー
ムページへ詳細な計画書
が公表されたのか。その
経緯は。

② 議会に、詳しい説明も
なく、住民説明会で事業
を進めるという発言が
あった。これは議会軽視
ではないか。

③ 補助事業は公益性と平
等性が保たれないといけ
ないと法律にあるが。

④ 3月20日の全員協議会
で説明がなかったが。

⑤ 決定の経緯と未だに議
会に説明がないのはなぜ
か。

⑥ 当初の住民説明会と事
業申請者が変更されてい
るが、そこに疑問を覚え
る。都合悪くなったら申
請者が変わるのは問題で
は。

⑦ 住民説明会で、住民か
ら「にぎやかと騒がしさ
は違う」と心配の声が
あったが。

⑧ 住民が、宿泊に伴い防
犯についてもすごく不
安を感じているが。

⑨ 本町対応は住民の声で
「意見のない人は賛成
だ!」というような捉え
方があるが。

答弁 吉田町長

① 余暇法の要件のとおり
だ。

② 議会軽視の取り方はそ
れぞれだ。

③ 住民と議会に説明して
いる。

④ 大変申し訳ない。

⑤ 内容と必要性などを議
員に説明するべきであつ
たと反省している。

⑥ 取り組み内容の変更は
国の指導と伺っている

⑦ そういう意見があった
と思っている。

⑧ 町も、一緒になって考
える。

⑨ 改めて、地域の皆さん
に説明会を開催する。



▲ 貸し出し予定の旧大江小学校

コンビニ設置

新たな役割は

町長/「百聞は一見にしかず」
で視察する

質問

地域のスーパーなどと
の連携や、カラオケ・喫
茶スペース・小規模ルー

ムなど、新しい試みの店
舗が近県にあるが本町も
先進店舗を参考にしてみ
てはどうか。

答弁 吉田町長

百聞は一見にしかず
だ、視察を考えている。



川西 聡 議員

農泊事業計画

施設の貸し出しの再検討は

町長/現時点では問題ない

質問

大江ノ郷自然牧場を経営する会社が、閉校された旧大江小学校を改修して、来春に宿泊施設としてオープンさせる農泊事業計画の中で、本町が計画に関わる内容は、「地元で農泊事業に力点を置く任意団体が同メンバーに、該当校を貸す方向になっている。」

①議会への計画の内容説明は十分だとの認識か。

②食品衛生上、会社の問題点は把握しているか。

③貸し出す方向の再検討はあるか。

答弁

吉田町長

①事業内容が変更され、時間が余りなかった中で、議会への説明は概要的だった。実施計画が明らかになれば改めて説明する。

計画書のホームページの発信は、議会説明前の一人歩きで「議会軽視」の指摘もあり、大変申し訳なくお詫びする。

②指摘の事業所で以前に食中毒が発生したことは

承知している。

事故後は保健所の定期的な相応の調査、検査などの指導で再発防止に取り組んでいると把握。

③現時点では、安全面を初め問題点はなく、事業は地域の活性化に繋がる



▲ 授業風景 (体育 八頭中学校)

質問

県教育委員会が県内小中学校などの教職員3510人に、(1)時間外

学校教職員労働時間外

問題点はあるか

教育長/様々な改善の検討をしている

労働の平均時間(2)内容(3)自宅へ持ち帰って仕事をした時間などを調査し公表した(昨年9月分)。

①本町の小中学校が県教委に回答した内容は、

②本町の教育委員会は、本町学校教職員の時間外労働の実態に問題点があると認識しているか。学校への改善指導は。

答弁

薮田教育長

①(1)小学校52時間、中学校67時間。80時間超えは小学校1人、1%。中学校11人、29%。

(2)小学校は分掌業務・学級業務など。中学校は分掌業務・部活動など。(3)10時間以下が小学校88%、中学校100%。月平均では小学校8.5時間、中学校0.6時間と

なっている。

②改善すべき点はある。内容は、行事や活動、組織の見直し・授業の精選の実施・環境面の整理整頓・意識啓発・体制づくり・本年度からの閉庁日の設定・業務アシスタントやスクールソーシャルワーカーの配置・事務の効率化の促進・地域に対して働き方への理解を求める「学校だより」の全戸配布などである。

※その他の質問

保育所における感染症予防対策について



中村 美鈴 議員

防災・減災

対策の強化は

町長/大事であり、安心・安全な町づくりに努める

答弁 吉田町長
①「八頭町公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定し、公共施設の適正配置を実施している。「長寿命化修繕計画」を定め順次修繕を行い、点検業務や、維持管理を

質問
近年、大規模な自然災害や異常気象が頻発し、各地で甚大な被害が出ている。災害から、命を守るには、防災・減災対策を強化する必要がある。
①橋や道路、上下水道など多くのインフラが耐用年数を迎えるが、インフラ維持管理、老朽化対策は進んでいるか。
②中山間地域の土砂災害警戒区域の数と対策は。
③河川の氾濫区域は。
④児童の通学路の危険箇所は把握は。
⑤河川の氾濫区域で、避難場所での職員の対応や、日頃の運営方法と要援護者の対策は。
⑥本町に自主防災会、防災係や女性の分団、防災リーダーは。

行っている。
②レッド区域は347、イエロー区域は420ある。レッド区域で、対策中の所が4割ある。県に工事依頼中だが、予算や時間がかかり整備が困難だ。
③主に八東川、私都川、大江川で26か所ある。
④27年度に、「八頭町通学路交通安全プログラム」を策定し、これに基づき通学路の安全確保を図っている。学校からの報告で28年8件、29年10件だ。
⑤職員は避難所閉鎖までは常駐し、受付けを行い、食料や毛布の配布などを行っている。
要援護者の避難は、支援愛マップ作りや防災訓練の時に集落単位で取り組んでいる。
⑥ほぼ自警団組織があり、未結成集落は10集落だ。
婦人消防隊は八東地域に2隊で、消防団には女性消防隊が12人在籍。集落の防災リーダーは無い。



▲ 改修工事を終えた桜の名所天満山下の防護壁

質問
八頭町第2次総合計画5事業の完了は。
答弁 吉田町長
27年度から5年間計画で、県に要請しているが、予算がつかない現状だ。

質問
地域防災会議の女性委員は何人か。
答弁 吉田町長
21人中5人が女性委員で割合は24%だ。安心・安全面からも女性の視点が大事で対応を考えた。

人口減少対策

複合施設の計画は

町長/可能な限り利用



栄田 秀之 議員

質問

人口問題研究所が3月に発表した2045年の将来推計人口は、多くの自治体の衰退が止まらない現状だった。前回2013年に比べて県内では本町を含めた5町で減少幅が拡大した。

①本町は、他の町よりも地方創生事業に取り組んでいる。隼Lab.を初めとして若桜鉄道の「昭和」ミニSL博物館を建設した。しかし、この現状である。今後の人口減少対策、取り組みは。

②隼Lab.、若桜鉄道「昭和」、ミニSL博物館などは本町にとつてどのような効果をもたらしたのか。

③日吉津村や岩美町で、複合施設の建設や予定がある。人口減少、コンパクトシティ化、特例債の延長などにより、本町も複合施設の計画に取り組むべきでは。

答弁

吉田町長

①現在の取り組みを引き続き推進し、人口減少対策ビジョン、総合戦略に

取り組む。

②隼Lab.は12社の利用により全ての部屋が活用されている。利用者の確保を図る。

観光列車「昭和」は収入乗客も増加。ミニSL博物館の平成29年度の来館者は1万6664人だ。

③本町全体のバランスを見ながら進める。既存の施設は、可能な限り利用する。

質問

本町の2045年の人口推計は9067人だ。町長が一番先にやることは人口減少対策だが。

答弁

吉田町長

厳しい現実の中、活性化や総合戦略に取り組んでいく。

質問

この春、大阪市の図書館の多くがルールを見直し、図書館での自習を認めた。時代とともに図書館の役割は変わった。

①図書館での自習の対応は。

②平成28年・29年の3館の利用状況及び体制は。

答弁

薮田教育長

①一般利用者に支障のない範囲で自習を検討したい。

②29年度は前年より約3000人の利用者が減少している。職員は郡家5人・船岡、八東は3人。

質問

子どもたちの自習コーナーの設置は。

答弁

薮田教育長

図書館使用

子どもの自習コーナーの設置は

教育長/図書館の役割を見直す

船岡は限られている ※その他の質問が、郡家、八東はスペースもあり活用への対応を考えた。算の概要について



▲ 自習などの利用が望まれる郡家図書館



高橋信一郎 議員

事業の
優先順位

町づくりにも役立つ 交通量調査を

町長/重要度を勘案し決定する

答弁 薮田教育長
教育ビジョンの中で施策を示し実施している。PTAの要望は、優先順

位の考え事業化している。通学路の課題は国・県と連携し、改良の対策を実施している。

答弁 吉田町長
昨年1年間では、69集落10団体、合計309件の要望をもらった。対応状況は計125件で40.5%。

質問
町政に対する期待感の喪失や無関心を招くきっかけは、住民の要望や意向が連続して叶えられなかった時、遅々として進まなかった時などが考えられる。



▲ 整備が待たれる岩淵橋

質問
八東地域の小畑谷は町内で一番整備遅れになっている。鍛冶屋温泉もあれば、私の見解を踏まえ、事業の優先順位、採用のプロセスはどうなっているか。

質問
八東地域の小畑谷は町内で一番整備遅れになっている。鍛冶屋温泉もあれば、私の見解を踏まえ、事業の優先順位、採用のプロセスはどうなっているか。

答弁 吉田町長
岩淵橋は10年来の要望だが、橋梁点検は平成30年度の調査対象だ。前後の道路の縦断的な問題（高低差）もある。

質問
私都谷・大江谷・志子部谷などは整備されている。一度、交通量調査をして小畑谷と比較されたら、生活依存度の高さや整備は最優先だ。町づくりに役立つかと考えるが。

答弁 吉田町長
交通量は、量だけの調査では意味がない。その数字を基に調査検討はする。

議案等議決結果 (第3回臨時会・第4回定例会)

○賛否の分かれたもの

議案等 番 号	議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
	件 名	奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	
第 4 回定例会															
修正案	議案第58号平成30年度八頭町一般会計補正予算（第 1 号）に対する予算・決算に関する調査特別委員会修正案	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	否決
58	平成30年度八頭町一般会計補正予算（第 1 号）	○	×	○	○	×	○	×	■	×	×	×	○	○	可決 ※
59	平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	可決
60	平成30年度八頭町墓地事業特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	可決
陳情 1	地方財政の充実・強化を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	採択
陳情 2	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	採択
陳情 3	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	継続 審査
発議 1	八頭町部落差別撤廃及び人権擁護に関する条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	可決
発議 2	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	可決
発議 3	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	可決
決議 1	2025年国際博覧会の誘致に関する決議の提出	○	×	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	可決

賛成「○」、反対「×」、退去「■」（記名投票の際、議長が議場閉鎖の宣告をしたにも関わらず、議場を離脱したことに対し、地方自治法第129条第1項の規定に基づき、議長が退去を命じたもの。）で記載。

議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。

※議案第58号は採決の結果、賛成と反対が同数となり、議長裁決で可決となった。

○全会一致で可決したもの

議案等 番 号	件 名	議案等 番 号	件 名
第3回臨時会			
51	専決処分の承認を求めること (八頭町税条例の一部改正)	55	(仮称) 八東保育所機械設備工事請負契約の 締結
52	専決処分の承認を求めること (八頭町国民健康保険税条例の一部改正)	56	備品購入契約の締結 (除雪車)
53	(仮称) 八東保育所建築工事請負契約の締結	57	八頭町国民健康保険税条例の一部改正
54	(仮称) 八東保育所電気設備工事請負契約の 締結		

陳 情 の 審 査

件 名	提 出 者	理 由	備 考
地方財政の充実・強化を求める 陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 西村裕生 他 1 名	陳情の趣旨を認めた	意見書提出
教職員定数改善と義務教育費国庫負 担制度 2 分の 1 復元をはかるため の、2019 年度政府予算に係る意見 書採択の陳情書	鳥取県教職員組合 東部支部長 橋本智洋 他 1 名	陳情の趣旨を認めた	意見書提出

○継続審査としたもの

件 名	提 出 者	理 由	備 考
臓器移植の環境整備を求める意見書 の採択を求める陳情書	移植ツーリズムを考え る会 理事 井田 敏美	なお慎重審査を要する	

やず・ドリーム リレートーク

規模拡大で法人化を！

大村農園 大村 祥一朗

40 a 栽培しており家族総出で日々作業を行っております。

夢は

今後は、さらに耕作の委託が増えて来るのではないかと思います。それに向かい農業に関心のある同年代の若い人達を雇用し、一諸に農業を行いそれを元にさらに規模拡大を目指し、近い将来法人化できればと考えています。

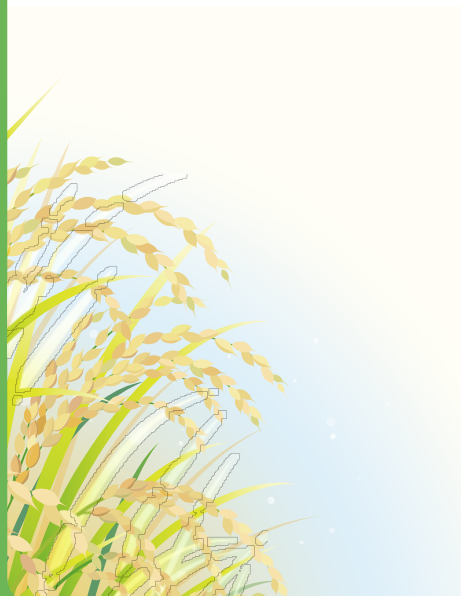
課題や思いは沢山ありますが、将来の夢に向かって一つずつ目標を達成していきたいと思っています。

現在までの取り組み

農業大学校卒業後、園芸試験場で臨時職員として3年間勤め、平成15年に果樹農家として新規就農しました。

当時、梨を約60 aと水稻を約1.5 ha栽培していました。その後、徐々に水田の耕作依頼が増え続けました。就農当時から「いつかは自分で販売を」との思いもあり、これを機に平成19年には荒廃農地等も借り入れさらに規模の拡大を図り、それと同時に乾燥調整施設を建設し水稻農家として新たにスタートしました。

平成20年度からは農業認定者となり、現在の栽培面積は水稻を22 ha、二十世紀梨を



定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

議会の傍聴をしてみませんか



TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641 (議会事務局)

八頭町議会

検索

編集後記

気象庁の長期予報は暑い夏を予想していましたが、定例会中は梅雨の時期にも関わらず、気温が低くしのぎやすい気候でした。

7月に入り、台風が襲来、梅雨前線が西日本に居座り、本町でも経験したことのない大雨が降り、数十年に一度あるか無いかの大雨特別警報が発令されました。

6月定例会では、議案はもちろんのこと、町が出資している公社、会社の経営状況に真剣に議論が交わされました。本町の健全なる財政運営と町民の幸せを願う質疑、討論でした。公社や株式会社社の経営状況など、内容をより詳しく掲載いたしております。

町民にわかりやすく親しまれる議会だよりになるよう委員一同心がけてまいります。

(記：小林久幸)

編集委員

委員長	奥田のぶよ
副委員長	小原 徹也
委員	川西 聡
委員	小林 久幸
委員	森 亜紀子
委員	中村 美鈴